

まなながら、21世紀を担う児童生徒の健全な育成を図るために、「教育内容・方法の充実」「道徳教育・環境教育の充実」「生活指導・進路指導の充実」等9つの観点から施策を展開し、その充実に努めた。

(2) 指導組織

義務教育課担当主幹、主任指導主事ほか11名の指導主事等と各教育事務所指導課長、指導主事、各市町村教育委員会指導主事及び教育委員会委嘱学校教育指導委員（下表）によって、幼稚園、小学校、中学校の指導に当たった。

	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
指導主事数 (指導課長を含む)	8	9	7	10	5	7	8	54
市・町教育委員会 指導主事等数	10	16	3	5	0	2	9	45
教科等指導委員数 (養護教育を含む)	7	7	8	7	10	8	7	54
生徒指導委員数	3	4	2	3	1	2	2	17
学校体育指導委員数	2	2	1	2	1	1	1	10

(3) 学校教育指導の重点

本年度は、学習指導要領の趣旨を踏まえ、新しい学力観に基づく教育活動が推進されるよう、教育課程の改善、学習指導、生徒指導等の次実に努めた。

① 教育内容・方法の改善・充実に努める。

ア 広報誌「教育福島」で学校教育の指導の重点や具体的課題を明確にし、改善に役立つ実践例を紹介した。

○学校教育指導の重点（1月号別冊）

○子供たちのよさや可能性を生かし、伸ばす道徳教育の推進（4・5月号）

○生徒指導の充実（6月号）

○“新世紀ふくしま”を担う人材育成のための学校教育の充実（7・8月号）

○進路指導の充実（9月号）

○教職員研究論文（1月号）

イ 小・中学校教育課程運営改善講習会を開催し、教育の指導力の向上と新学習指導要領の趣旨の実現を図った。

○対象者——教頭及び教諭の中から各校1～2名程度

ウ 小学校実技指導者講座を実施し、指導的立場にある教員等の指導力の向上と実技指導の充実、改善を図った。

○対象者——音楽、図画工作、家庭の3教科の教員

エ 福島県小・中学校教育研究との共催で教育課程実施上の諸問題を研究し、その改善・充実に努めた。

オ 各種研究学校（地区）を指定し、指導内容や指導方法の改善・充実に努めた。

㊦ 小・中学校教育ネットワークプラン（7管内）

① 教育課程研究指定校（小・中学校各2校）

㊧ 生活科実施推進協力校（小学校1校）

㊨ へき地教育研究指定校（小学校1校）

㊩ 奉仕等体験学習研究推進校（小・中学校各1校）

㊪ 勤労生産学習研究推進校（小・中学校各1校）

㊫ 進路指導研究学校（中学校1校）

㊬ 中学校生徒指導総合推進校（中学校）

㊭ 機器利用研究校（中学校1校）

㊮ ティーム・ティーチング研究推進校（中学校1校）

キ 道徳教育振興会議、市町村道徳教育推進事業、道徳教育校長等指導者養成実践講座を実施するとともに道徳教育の研究学校（地区）を指定し、道徳教育の改善充実に努めた。

㊯ 道徳教育協同推進地区（1地区）

① 道徳教育推進校（小・中学校各2校）

㊰ 奉仕等体験学習研究推進校（小・中学校各1校）

ク 研究学校を指定し、特別活動の改善・充実に努めた。

㊱ 進路指導研究指定校（中学校1校）

ケ 指導担当者の資質向上のため、研修の充実に努めた。

㊲ 指導担当者研究協議会（2回）

① 指導課長会議（2回）

② 教職員の資質と指導力の向上に努めた。

ア 小学校、中学校初任者研修の実施

イ 事務職員、教職経験者、新任校長、新任教頭、新任教務主任等の研修会の実施

ウ 中央研修講座への派遣

エ 教員海外派遣の実施

オ 長期研修生（内地留学）の派遣

カ 教育研究団体に対する援助と指導

キ 自主的研究グループへの援助

ク 教職員研究論文の募集

ケ 英語指導助手による学校訪問指導

③ へき地教育担当教員、免許外教科担任教員の研修の充実と指導力の向上に努めた。

ア へき地教育担当教員研修

イ へき地小規模学校教育研究大会

ウ 中学校免許外教科担当教員研修

④ 幼稚園教育担当教員の研修の充実と指導力の向上に努めた。

ア 幼稚園等新規採用教員研修

イ 幼稚園教育課程運営改善講習会

ウ 幼稚園教育研究集会

エ 保育技術専門講座

オ 幼稚園実技講習会

⑤ 生徒指導の充実に努めた。

ア 各種研修会を実施し、生徒指導の充実に努めた。

㊲ 生徒指導推進会議（3回）

① 生徒指導担当指導主事研究協議会（2回）

㊳ カウンセリング研修会

㊴ 生徒指導講座

イ 研究学校（地区）を指定し、生徒指導の充実・改善に努めた。

㊵ 研究学校（中学校2校）

ウ 管内教育相談事業を実施し、児童生徒・保護者・教員に対する指導、助言に努めた。